

# 龍ヶ崎市での OpenOffice / LibreOffice の採用から現在まで

龍ヶ崎市 政策推進部 情報政策課

# 龍ヶ崎市ってどんなところ？(1)

## ■ 龍ヶ崎市の概要

龍ヶ崎市は茨城県の南部、東京の北東約50km、筑波研究学園都市の南約20kmのところに位置する人口約8万人の市です。

首都圏50km圏内という地理的条件から近年、龍ヶ崎ニュータウンやつくばの里工業団地などの開発による都市化が著しい反面、豊かな水を蓄える牛久沼をはじめ、豊かな自然も数多くあり、自然と調和のとれた環境を保っています。

寒暖の差が比較的少なく、四季の変化は平穏順調です。また、年平均気温も平均摂氏14度程度と気候に恵まれた土地です。年間降水量は1,000mm程度。降雪は少なく年平均1～3回程度で積雪15cmを超えることはまれです。



# 龍ヶ崎市ってどんなところ？(2)

## 伝統芸能「撞舞」(国選択・県指定無形民俗文化財)



撞舞と書いて「つくまい」。起源には諸説あり、古代中国の民間芸能(手品、軽業、滑稽な業)の一種、尋舞(つくまい)が日本に伝わり、五穀豊穡祈願や雨乞いなど祭の神事と結び付いたとする説もその一つです。

「撞」は柱や竹竿を意味する「撞」の字が転化したものとされ、アクロバティックな舞の舞台である長い柱の先を意味しています。平成11年(1999)12月3日に国選択無形民俗文化財の選択を受けています。

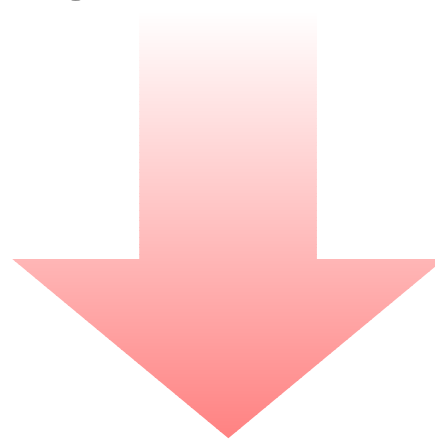
## りゅうがさきコロッケ(まいんコロッケ)

まいんコロッケは、お袋の味・庶民の味。全11種類のオリジナルコロッケ。①ポークコロッケ、②カレーコロッケ、③ピーナッツコロッケ、④りんごコロッケ、⑤やさいコロッケ、⑥かぼちゃコロッケ、⑦ローズポークメンチ、⑧とうふコロッケ、⑨黒豆コロッケ、⑩おさつコロッケ、⑪カニクリームコロッケ



# OpenOffice導入のきっかけ(1)

庁舎内で使用しているサーバ機器及びパソコンの機器老朽化のため、約400台のパソコン及びサーバ類を入れ替え（リース）することになった。



コスト（予算）をかけずに入れ替え作業をする。

# OpenOffice導入のきっかけ(2)

なにでコストを下げるのか？

**サーバ**

**パソコン**

**仮想化技術等で  
物理サーバ数を削減し、  
コストダウン**

**なにでコストを下げる？**

# OpenOffice導入のきっかけ(3)

パソコンの購入予定価格約 12万円 × 410台  
= 4,920万円

内訳

パソコン本体 約7万円 + Microsoft Office 約5万円  
(2,870万円) (2,050万円)

購入予定価格の**約40%**が Microsoft Office にかかる経費！

# Microsoft Office のライセンス

平成 21 年当時の MicroSoft Office のライセンスでは、Office のプレインストールされたパソコンのリースはライセンス違反！

行政機関向けのガバメントライセンスは PowerPoint 等のほとんどの職員が使用しないソフトが入って約 5 万円！

# MicroSoft Office を使わないという選択肢

Microsoft Office

文書作成ソフトや表計算ソフトの選択肢はたくさんある！

Kingsoft Office 、 OpenOffice 、 StarSuite 、 eOffice 等

会津若松市を始め、多くの自治体が OpenOffice  
を導入している → 龍ヶ崎市でできない理由はない



# OpenOfficeのメリット

## (1) オフィス導入コストの抑制

オープンオフィスは、オープンソースとして開発されており、導入コストがかからないため、オフィスソフトの調達コストを削減できる。また、運用面としてもバージョンアップやパソコン入替に伴う費用の発生がないため、永続的にオフィスソフトにかかる費用を抑制することができる。

## (2) 文書ドキュメントの長期保存

オープンオフィスは、国際標準規格（ISO26300）であるオープンドキュメントフォーマット（ODF）形式を採用しており、他の商用オフィスソフトもODF形式に対応しているため、文書の長期保存が可能である。また、政府でも標準規格に則ったファイル形式を進めていることからオープンオフィスは、信頼のあるソフトウェアということが言える。

## (3) 市民の利便性向上及び負担軽減

現在、インターネットの普及により市ホームページ上で様式等を公開するなど、パソコン上でのやりとりは、行政運営を円滑に遂行する上で欠かせないものとなっている。これまでの有償ソフトで作成し、公開していたファイルが無償ソフトで公開することによって誰でもソフトの入手が可能になり、有償ソフトの購入を強いる必要がなく、結果的に市民サービスの向上に繋がる。

# Microsoft Office を使う理由

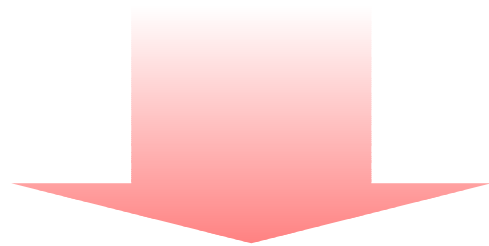
- 国や県、そして全国のほとんどの自治体が使っている。
  - やりとりが Word や Excel 形式でのファイル
  - 回答を求められるものが、マクロ等を使用しているケースがある。
- 今まで作成した文書等が MicroSoft Office 形式
  - 過去に作成した情報資産が膨大にある
- MicroSoft Office しか使ったことがない。
  - OpenOffice 等の他の Office ソフトを使ったことがない

# OpenOfficeに移行するためには

- Microsoft Office は全国のほとんどの自治体が使っている。
  - 他団体からのファイルはビューアソフトで印刷・閲覧
  - マクロ等の入っているファイルについては、Microsoft Office で編集（最低限の Microsoft Office は購入）
- 今まで作成した文書等が MicroSoft Office 形式
  - 時間をかけて移行作業を職員が行う
- MicroSoft Office しか使ったことがない。
  - OpenOffice を使うケースをつくる（移行前のパソコンに OpenOffice をインストール）

# 自治体の特徴(OpenOffice導入の壁)

- 新しいものにはなるべく近づかない
- 周りがやっていないことはやりたがらない
- 今までの環境を変えない



OpenOffice の導入には  
職員の理解と協力が必要不可欠！

# OpenOffice の移行のために(1)

## 導入スケジュール

平成 21 年 12 月…職員が使用する約 2 / 3 のパソコンにオープンオフィスをインストール  
→実際に使ってもらい、事務で使用する文書ファイル等の作成

平成 22 年 10 月…庁内すべてのパソコンに OpenOffice をインストール

平成 23 年 3 月…本稼動開始

移行期間は 1 年以上

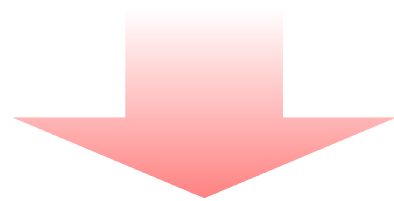
# OpenOffice の移行のために(2)

## 移行期間中のフォロー

- 使い方の学習方法は基本的にインターネット検索

→ 自分で調べて、使い方を覚える。

※人から聞いたものは忘れやすいので、自分で調べる



**使い方を自分で学んでいくことで、使えるようになっていく。**

# OpenOffice の移行のために(3)

移行期間中の情報部門での OpenOffice の操作等に質問については、ほとんど答えていない（答えなかった）。



**自分で問題を解決することにより、職員のレベルアップにもなる**

# 情報資産の共有化

庁内で使用する定型様式等をグループウェア上で共有化を行い、移行の効率化を図りました。

| 名前   | 登録者         | サイズ   | 種類  |
|--|-------------|-------|-----|
| <a href="#">様式第1号(端末操作員登録届)</a>            | 情報政策課)情報政策課 | 19 KB | ods |
| <a href="#">様式第2号(端末操作員パスワード等通知書)</a>      | 情報政策課)情報政策課 | 19 KB | ods |
| <a href="#">様式第3号(貸出用コンピュータ等使用申請書)</a>     | 情報政策課)情報政策課 | 16 KB | ods |
| <a href="#">様式第4号(コンピュータ等接続申請書)</a>        | 情報政策課)情報政策課 | 17 KB | ods |
| <a href="#">様式第5号(ソフトウェア(追加・変更・削除)申請書)</a> | 情報政策課)情報政策課 | 17 KB | ods |
| <a href="#">様式第6号(データ利用申請書)</a>            | 情報政策課)情報政策課 | 19 KB | ods |
| <a href="#">様式第7号(引渡確認書)</a>               | 情報政策課)情報政策課 | 18 KB | ods |
| <a href="#">様式第8号(端末装置時間外使用申請書)</a>        | 情報政策課)情報政策課 | 19 KB | ods |
| <a href="#">様式第9号(データ修正申請書)</a>            | 情報政策課)情報政策課 | 18 KB | ods |
| <a href="#">様式第10号(システム等(新規・変更)申請書)</a>    | 情報政策課)情報政策課 | 21 KB | ods |
| <a href="#">様式第11号(システム開発・変更)申請書)</a>      | 情報政策課)情報政策課 | 20 KB | ods |

OpenOffice で作成された形式で登録。



# コスト効果について

ノートパソコン ( i3 2G Win7 pro ) ×406 台

デスクトップパソコン (i5 4G Win7 pro) × 4 台

外付け FDD × 50 台

Microsoft Office Professional Plus × 50 本

MicroSoft Office の  
インストール割合  
約 14 %  
( 60/420 台 )  
※ リース台数の他、  
既存のパソコン 10 台

(※各職場 (課) に 1 台程度)

カラーレーザープリンタ × 4 台

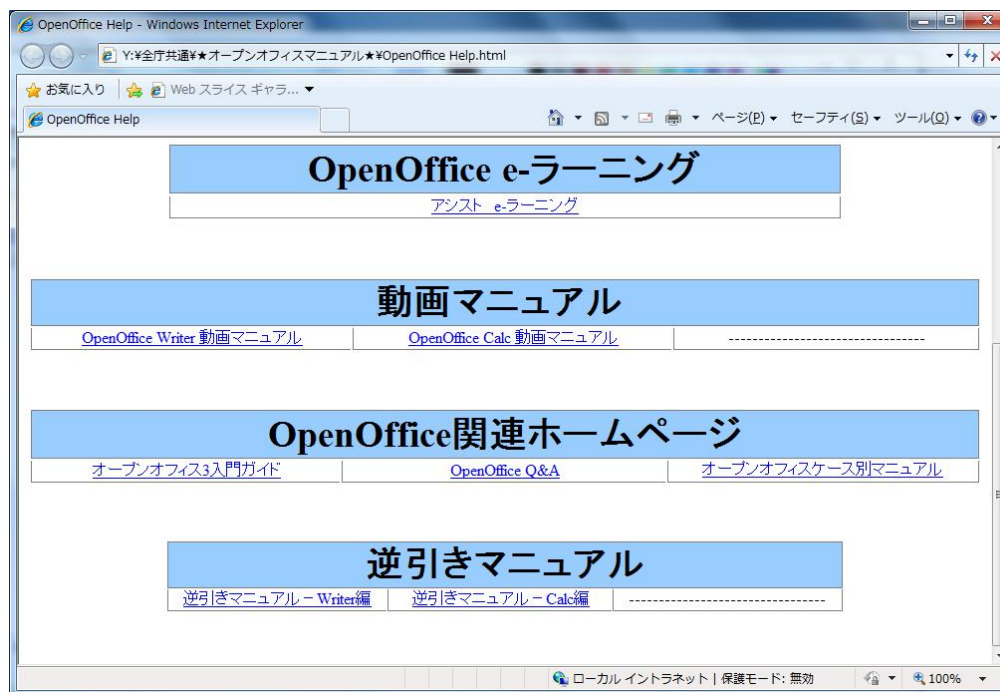
合 計 25,307,100 円 (5年リース)

参考 Office Professional Plus 日本語版 (GO) 58,200 円

**削減した Microsoft office 360 本 (約 2,000 万円)**

# 導入後のフォローアップ

- 株式会社アシストの OpenOffice ヘルプデスクと 1 年間契約
- OpenOffice のヘルプ関係のリンク集を作成



# 見えてきた課題

運用開始して、約1年半が経過し OpenOffice での業務を行ううえでの課題がわかってきた。

- 各課に割り振られた MicroSoft Office が不足している。

→ 龍ヶ崎市では各課内に行う業務をグループ単位で分けている。そのため、他団体とやり取りを行う場合にはグループ単位で MicroSoft Office を割り振ったほうがスムーズに業務ができる。

- OpenOffice と LibreOffice の関係

→ MicroSoft Office との互換性が優れた LibreOffice が登場した。MicroSoft Office との互換性が高くなる反面、OpenOffice とのファイルの互換性が100%ではない（Calcで罫線の太さが変わってしまう）

# 茨城県の OpenOffice 採用自治体

茨城県内では龍ヶ崎市以外に OpenOffice を採用する自治体が出てきました。

## ★ 茨城県常総市

<http://www.city.joso.lg.jp/>

常総市ではオープンオフィスを導入しました

平成23年11月から市役所内での文書の作成をフリーソフトの「オープンオフィス」を用いることにしました。

各種申請書、様式も順次オープンオフィス用も作成していきます。

業務システム見直し改善計画により市役所で導入しているパソコンの経費削減を図っています

### ハード面



H18,19 368 台  
2,300 円 / 月 / 台



FDドライブ  
PS/2ポート  
パラレルポート  
等の見直し



H20,21,22 239 台  
1,700 円 / 月 / 台

約 880 万円 削減

### ソフト面



Ms-Office 2003

バンドル版 Ms-Office  
(PC の付属)



OpenOffice.org

Ms-Office 導入経費



約 1,350 万円 削減

ご清聴ありがとうございました。

